

監督競技者注意事項

カンセキスタジアムとちぎ

1 規 則

競技は2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。

2 練習について

- (1) 練習は競技者のみとする。
- (2) 練習会場について
 - ①隣接の第2陸上競技場を使用する。（入退場はゲート3：1500mスタート地点付近のみ）
 - ②主競技場での練習は、7時45分～8時30分（競技開始15分前）まで可とする。
また、100・150mおよびハードル競技中のみ、バックストレートを開放する。
（入退場はゲート3：1500mスタート地点付近のみ）
- (3) 会場内へは、備え付けの用具以外の持ち込みを禁止する（ただし、棒高跳用ポール、バトン、ストップウォッチは除く）。
- (4) 全ての練習は、競技役員及び係の指示によって行うものとするが、監督、競技者も危険防止を十分留意する。
- (5) 砲丸投の練習について
 - ①多目的広場（投てき場）以外での練習は禁止する。（招集後のピットのみで行い、それ以外では行わない。）
 - ②投擲物を利用した練習は、招集完了前に隣接の多目的広場（投てき場）において大会主催者が準備したもので練習を可とする。また、競技開始40分前からは、ピットでの投擲練習を可とする。

3 競技場について・使用する競技用靴について

- (1) 本競技場は全天候舗装であるので、靴底から外部に出ているスパイクの長さは9mmを超えてはならない。また走高跳およびやり投の場合は、12mmを超えてはならない。なお、スパイクピンの数は、11本以内とする。
- (2) 靴底の厚さは以下のとおりとする。

800m未満のトラック種目とフィールド種目	：20mm以内
800m以上のトラック種目	：25mm以内

ただし、フィールド競技用シューズTR5.5については適用を除外する。
- (3) 規程のシューズを使用していることを前提に招集所（競技者係）にてチェックは行わないが、審判員の権限により求められた場合はシューズチェックを行う場合もある。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは胸と背に1枚ずつ確実につける。女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留める。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- (2) トラック種目では、腰ナンバー標識を右腰後方につける。腰ナンバー標識は招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。安全ピンは競技者各自で用意すること。
- (3) 写真判定の妨げとなるので、腰ナンバー標識が隠れないようにすること。

5 招集について

- (1) トラック競技者は、招集完了時刻10分前に招集所（第3ゲート）に集合し、競技者系の点呼とユニフォーム・アスリートビブス及びスパイクのピンの長さの確認を受け、待機する。
- (2) フィールド競技者は、現地で競技者系の点呼とユニフォーム・アスリートビブス及びスパイクのピンの長さの確認を受ける。
- (3) 招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を受ける。この場合は、代理人を認める。
- (4) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を許さない。（尚、事前に棄権することが明らかなき場合は招集完了時刻までに招集所へ申し出る。その際、代理人も認める。）
- (5) 招集時刻は下記のとおりである。時間は競技開始時刻を基準とする。

種 目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		25分前	15分前
フィールド競技	走高跳・走幅跳	50分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前
	砲丸投・円盤投・ジャベリックロー	50分前	40分前

6 入・退場について

競技者は招集完了と同時に競技場へ誘導されるので、係員の指示に従い入場し、競技終了後も指示に従い規律ある行動をとること。

7 競技方法について

- (1) スタート合図はイングリッシュコマンド（On your marks:オン・ユア・マークス、Set:セット）で行う。不正スタートについて、1回目の不正スタートで失格とする。
- (2) トラック競技の走路順、フィールド競技試技順序はプログラム記載の上から下の順序にする。
- (3) セパレートレーンで行う競技では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) フィールド種目（走高跳・棒高跳を除く）は3回の試技とする。
- (5) リレー競技について
 - ① 出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、招集完了1時間前に招集所競技者係に提出する。（リレーオーダー用紙は、招集所に用意する。）
 - ② 同一のユニフォームを着用する。
 - ③ マーカーの使用は1か所とする。
 - ④ マーカーは白色のテープを使用する。
- (6) 1000mと3000mについては、グループスタートを実施する。
- (7) 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。ただし、諸条件（悪天候）などにより、審判長の判断で高さを変更することもある。下記以降の高さについては、競技者と相談する。

	練習		競 技					
男子走高跳	1.40	1.55	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70
女子走高跳	1.15	1.35	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45
男子棒高跳	2.10	3.00	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70
女子棒高跳	1.70	2.60	1.80	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30

- ① 最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があればTR26.4.1, TR26.4.2を適応しないで、県記録を超える高さにはバーを上げることができる。
- ② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳2cm, 棒高跳5cmとする。

8 記録証について

参加選手全員に記録証を授与する。

9 用器具について

- (1) 用器具は、競技場のものを使用する。ただし、棒高跳のポールは招集後に現地で検査を行う。合格したものに限り個人所有のものを使用することを認めるが、競技進行中跳躍審判員が随時点検する。
- (2) 棒高跳・砲丸投・円盤投・ジャベリックスローにおける滑り止め（炭酸マグネシウム）は主催者では準備しない。滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参する。なお、他の競技者と共有しない。

10 その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、競技者係に申し出る。
- (2) ランニングシャツは、確実にランニングパンツの中に入れて競技をすること。
- (3) 医務室は、スタンド下に置く。
- (4) 更衣については、男女とも2Fスタンドコンコースの男女トイレ内に設置してある更衣ブースを使用してもよい。
- (5) 盗難防止については、各自注意する。不審な行動を見かけたら、近くの競技役員まで知らせる。
- (6) 競技場内は、競技者、競技役員、生徒役員以外は立ち入らない。
- (7) メインスタンドには、スパイクで入らない。
- (8) 声を出しての応援は禁止する。
- (9) ごみは、必ず持ち帰る。
- (10) 商標の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。（例：上半身・下半身の衣類は、製造会社名／ロゴは1カ所－40cm²以内。バッグ類は、製造会社名／ロゴは2カ所－それぞれ40cm²以内）
- (11) ピットについて

走高跳	正面スタンドから見て右側	Aゾーン
	〃	左側 Bゾーン
走幅跳	メインスタンド寄り	Aピット
	トラック寄り	Bピット
砲丸投	多目的広場 西寄り	Aピット
	〃 東寄り	Bピット
円盤投	多目的広場 東寄り	Bピット
ジャベリックスロー	多目的広場 東寄り	Bピット
- (12) 各校のベンチは、主競技場2階コンコースの指定された場所のみとする。
- (13) 横断幕・のぼりの設置は主競技場2階コンコースの手すりのみとし、スタンドの前面の設置は禁止とする。

11. 全国大会出場について

- (1) U16陸上競技大会への参加は、本県としては次の通りとする。
 - ① 基幹種目（下記参照）については、2022年1月1日～2022年9月6日までの間に複数種目で申込資格記録に到達している、申込資格記録①の記録上位の競技者に、各種目の競技者人数のターゲットナンバー（出場者数の上限）を上限に正式参加者とする。
 - ② U16陸上競技大会の接続種目・普及種目（下記参照）への参加希望者は、本大会の参加希望種目に申し込む。

③ 接続種目・普及種目については、2022年1月1日から2022年8月27日までの公認競技会で最高記録（U16規格）を出した者にU16陸上競技大会への参加資格を与え、同記録の場合は本大会の結果を優先とする。なお、辞退が生じたときには、次の記録の者に資格を与える。また、県外の公認競技会に参加する場合、記録を確認する都合上、大会終了1週間以内に、①大会プログラム、②成績一覧表や記録証など記録が分かるものなどの提出を義務づける。（提出先：県中体連陸上競技委員長（石橋中 鯨昭文宛））

8月の競技会についての報告は、8月27日のU16陸上競技最終選考会の競技終了までとする。提出がない場合、提出が遅れた場合は記録集計に反映しない。

④ 大会終了後に、U16陸上競技大会の基幹種目の申込資格記録を突破した選手の監督は、速やかに本大会HPより申込み手続きを行う。尚、日本陸連および栃木陸協の未登録者は前もって登録を済ませておくこととする。

⑤ 10月1日（土）・2日（日）に国立競技場で行われるリレーフェスティバルに栃木県として1選抜チーム（補欠を含む6名）が出場する。リレーフェスティバルへの参加希望者は、本大会の100mに申し込む。

(2) 接続・普及種目、リレーフェスティバルへの申し込みは事務局で行う。

U16陸上競技大会

男子		申込資格記録					
		①		② いずれか一方の記録を突破すること			
		種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録
基幹種目	100m	100m	11.15	走幅跳	5m50	110mH *5	17.40
	走高跳	走高跳	1m85	走幅跳	5m50	110mH *5	17.40
	棒高跳	棒高跳	4m00	100m	12.30	走幅跳	5m50
	走幅跳	走幅跳	6m60	100m	12.30	110mH *5	17.40
	砲丸投 *1	砲丸投 *1	13m10	円盤投 *2	23m00		
接続・普及種目	150m	各都道府県代表選手各1名					
	1000m	本県としては、2021年1月1日から2021年9月5日までの公認競技会で最高記録（U16規格）を出した者にU16陸上競技大会への参加資格を与え、同記録の場合は本大会の結果を優先とする。なお、辞退が生じたときには、次の記録の者に資格を与える。					
	110mJH *3						
	三段跳						
	円盤投 *4						
	ジャベリックスロー						
4×100mR	各都道府県選抜チーム（1チーム）						

*1 5.000kg *2 1.500kgか1.750kg *3 高さは0.991m, インターバルは9.14m *4 1.500kg
*5 110mH(1.067m/9.14m), 110mJH(0.991m/9.14m), 110mH【中学】(0.914m/9.14m)のいずれでも構わない。

女子		申込資格記録					
		①		② いずれか一方の記録を突破すること			
		種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録
基幹種目	100m	100m	12.50	走幅跳	4m40	100mH *5	17.10
	走高跳	走高跳	1m60	走幅跳	4m40	100mH *5	17.10
	走幅跳	走幅跳	5m45	100m	13.50	100mH *5	17.10
	砲丸投 *1	砲丸投 *1	12m90	円盤投 *2	20m00		
接続・普及種目	150m	各都道府県代表選手各1名					
	1000m	本県としては、2021年1月1日から2021年9月5日までの公認競技会で最高記録（U16規格）を出した者にU16陸上競技大会への参加資格を与え、同記録の場合は本大会の結果を優先とする。なお、辞退が生じたときには、次の記録の者に資格を与える。					
	100mYH *3						
	棒高跳						
	三段跳						
	円盤投 *4						
ジャベリックスロー							
4×100mR	各都道府県選抜チーム（1チーム）						

*1 2.721kg *2 1.000kg *3 高さは0.762m, インターバルは8.50m *4 1.000kg
*5 100mH(0.838m/8.50m), 100mYH(0.762m/8.50m), 100mH【中学】(0.762m/8.00m)のいずれでも構わない。

12. 大会運営について

原則として、期日は延長しないものとし、下記の条件に従って主催者側で決定し、8月27日(土)には終了する。

- (1) 状況に応じて、競技日程を変更したり、競技を中止したりする場合がある。
- (2) フィールド種目は、全員が終了したラウンドや高さで順位を決定する場合がある。

GR…大会記録	* R 1…オーバーゾーン1→2
=GR…大会タイ記録	* R 2…オーバーゾーン2→3
◎…標準記録突破	* R 3…オーバーゾーン3→4
NM…記録なし	* T…着差あり
DNS…欠場	* D…同着
DNF…途中棄権	Q…順位による通過者
DQ…失格	q…成績による通過者